

入熱・パス間温度の低コストな管理手法

(溶接学会・建築鉄骨溶接特別研究委員会講習会)

近年、建築鉄骨にとって重大な問題であると認識され、入熱・パス間温度が溶接金属の力学的性能におよぼす影響に関する実験及び解析による研究が各方面で活発に行われるようになった。

溶接学会・建築鉄骨溶接特別研究委員会は、建築鉄骨における鉄骨接合部の強度・靱性を確保し、低コストで入熱・パス間温度管理が行える手法の検討を行い、最終案をまとめた。本講習会では、低コストで管理可能な入熱・パス間温度管理手法について提案を行う。

1. 開催日程

平成14年12月19日(木) 13:00~17:00

建築会館(東京都港区芝5-26-20 Tel:03-3456-2016)

主旨説明: 中込 忠男(信州大)

溶接部の強度・靱性確保のための管理方法について

・行政の立場から……………春原 匡利
(東京都)

・監理者の立場から……………護 雅典
(竹中工務店)

溶接条件の管理手法について……………笠原 基弘
(JUST)

溶接条件による強度・靱性の変化……………市川 祐一
(信州大)

平成14年12月20日(金) 13:00~17:00

大阪トヨタビル

(大阪市西区立売堀3-1-1 Tel:06-6543-5290)

主旨説明: 中込 忠男(信州大)

溶接部の強度・靱性確保のための管理方法について

・ファブの立場から……………北山 恭尚
(片山ストラテック)

・監理者の立場から……………嶋 徹
(戸田建設)

溶接条件の管理手法について……………成原 弘之
(大成建設)

溶接条件による強度・靱性の変化……………山田 丈富
(千葉工大)

2. 主催 (社) 溶接学会

3. 協賛 AW 検定協議会

4. 申し込み先 (社) 溶接学会 事務局 鈴木正文

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-11

Tel: 03-3253-0488 Fax: 03-3253-3059

e-mail: jws-ms@t3.rim.or.jp

6,000円+テキスト代 3,800円(溶接学会会員, AW

検定協議会会員: 5,000円+テキスト代 3,800円)

本会ホームページにてご確認下さい。

<http://www.soc.nii.ac.jp/jws/index.html>

「塑性変形を利用した高付加価値加工」講演会

主催：日本学術振興会 先端材料技術第156委員会

日時：平成15年1月14日（火）10：45-16：50

場所：弘済会館 4F 菊の間

（東京都千代田区麹町5-1 TEL：03-5276-0333）

【講演プログラム】

「挨拶」 (10：45-10：50)

小林 俊郎委員長

「趣旨説明」 (10：50-11：00)

牧 清二郎

1. 世界最小プラスチック歯車の製造技術
(11：00-11：45)

(株) 樹研工業 松浦元男

2. 超塑性変形を利用した超微小歯車の成形

(11：45-12：30)

群馬大学工学部機械システム工学科 早乙女 康典

－休 憩－ (12：30-13：30)

3. 半導体配線用超極細線の諸特性 (13：30-14：15)

田中電子工業(株) 技術部 板橋 一光

4. 結晶微細化したマグネシウム合金の塑性変形および
諸特性 (14：15-15：00)

長岡技術科学大学 機械系 鎌土 重晴

－休 憩－ (15：00-15：20)

5. ECAP による超微細粒材料の製造 (15：20-16：05)

横浜国立大学大学院 工学研究院 システムの創製
部門システムのデザイン分野 小豆島 明

6. ARB による超微細粒材料の製造 (16：05-16：50)

大阪大学大学院工学研究科
知能・機能創成工学専攻 辻 伸泰

詳細は，以下のホームページでご覧になれます．

<http://alroom.tutpse.tut.ac.jp/efpm/156committee/156index.htm>

申込締切：平成14年12月20日までに所属，氏名，連絡先を明記の上，下記にお申し込み下さい．

参加費：5,000円（テキスト代含む）．当日，会場にて申し受けます．

連絡先：〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学生産システム工学系内

日本学術振興会先端材料技術第156委員会 事務局（担当：赤堀）

E-mail: akahori@sp-Mac4.tutpse.tut.ac.jp

TEL: 0532-44-6654, FAX: 0532-44-6690



大阪大学接合科学研究所助手公募

公募人員 助手1名
所 属 接合科学研究所
専門分野 CAD/CAM やラピッドプロトタイピングによる新機能材料創出研究に経験のある方、もしくは意欲のある方。
応募資格 年令30才前後で、博士の学位を有する方。
提出書類 ①履歴書、②研究業績目録（審査付き原著論文、国際会議論文、著書、総説、特許、その他に分類下さい）③主要論文別刷り（5編以内、コピー可）④研究業績の概要と今後の抱負（2000字程度）⑤紹介可能な方1～2名の

氏名と連絡先

着任時期 2003年4月1日

公募締切 2003年1月31日

書類提出・問合せ先

〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘11-1

大阪大学 接合科学研究所 宮本欽生

TEL/FAX 06-6879-8693

E-mail:miyamoto@jwri.osaka-u.ac.jp

封筒に、「助手応募書類」と朱書し、簡易書留で郵送下さい。なお、応募書類は返却しません。



「ISAEM-2003国際会議」

(3rd International Symposium on Designing, Processing and Properties
of Advanced Engineering Materials)

主催：日本学術振興会 先端材料技術第156委員会および
Materials Research Society of Korea

日時：2003年11月5日～11月8日

場所：韓国 済州島 Hyatt Regency Hotel

内容：先端材料のデザイン，プロセス，プロパティに関する
国際会議

アブストラクト締切：2003年4月15日

ホームページ：<http://www.mrs-k.or.kr/ISAEM-2003.htm/>

問合先：福本昌宏

豊橋技術科学大学 生産システム工学系

Tel:0532-44-6692 FAX:0532-44-6690

E-mail:fukumoto@tutpse.tut.ac.jp



アドホック研究会「HAZ軟化をもつ溶接継手の引張強度特性評価」 および「HAZ軟化をもつ溶接継手の破壊性能評価」 発足のお知らせと参加のご案内

溶接学会では、9つの常設研究委員会、多くの分野にまたがる広範囲なテーマや今後の溶接学会発展に繋がる大テーマのための特別研究会に加え、平成10年度より研究活動を一層充実強化し、会員の研鑽に資するため、また、時期を得た緊急に解決すべき課題を研究するために、アドホック研究会の制度を設けて調査研究活動を行っていますが、今回、新たに表記の2研究会が発足することになりました。本研究会は、記載の主査の下で、下記のようなメンバー構成を予定しておりますが、本研究会についてご興味のある会員は広く参加を受け付けておりますので、主査宛に直接ご連絡下さい。

なお、公募は適宜受け付けておりますので、アドホッ

ク研究会として設立を希望する研究テーマをお考えの会員は、溶接学会事務局までお問い合わせ下さい。

1. 目的と内容

高張力鋼を用いた溶接構造物の製作においては、溶接した際に熱影響部（HAZ）に生じる軟化が継手性能に影響を及ぼすことがあり、これまでに継手変形能力、破壊性能などの点から検討が重ねられている。このようなHAZ軟化は、現在、物質・材料研究機構で研究開発中の超鉄鋼材料の溶接・接合においても同様に発生しがちであることが指摘されている。そこで、高強度鉄鋼材料の鋼構造物へのさらなる適用拡大を目指し、HAZ軟化がもたらす問題に的を絞った以下の2テーマについて研究調

査を行う。

(1) 「HAZ 軟化をもつ溶接継手の引張強度特性評価」に関するアドホック研究会

※本年度の調査実施内容：

- ・高張力鋼のHAZ 軟化とその強度特性に関する従来知見のまとめ (Reviewと課題)
- ・80キロ級超微細高張力鋼のHAZ 軟化特性の把握と引張強度特性から見た軟化限界評価
- ・HAZ 軟化部を持つ引張強度評価式の提案
- ・HAZ 軟化を考えた溶接金属強度マッピングのあり方とその評価手法の提案
- ・HAZ 特性と溶接熱サイクルの関係の解析的検討

(2) 「HAZ 軟化をもつ溶接継手の破壊性能評価」に関するアドホック研究会

※本年度の調査実施内容：

- ・強度的不均質を持つ溶接継手の破壊特性評価に関わる従来研究のReview
- ・HAZ 軟化がもたらす破壊靱性・破壊性能評価上の課題抽出
- ・HAZ 軟化を持つ継手の脆性破壊性能とその影響因子
- ・HAZ軟化を持つ継手の破壊靱性試験法、および、破壊性能評価のあり方の検討

2. 研究期間

～平成16年3月31日 (予定)

3. 主査および委員構成

- (1) 望月正人 (主査, 阪大), 山本元道 (広大), 安圭栢 (姫路工大), 中村照美 (NIMS), 山本純司 (NIMS), 川畑友弥 (住金), 新富達也 (中山製鋼), 井上好章 (三菱重工), 猪瀬幸太郎 (IHI), 三上欣希 (阪大) (予定)
- (2) 南二三吉 (主査, 阪大), 大畑充 (幹事, 阪大), 邱海 (NIMS), 銭谷哲 (NIMS), 猪瀬幸太郎 (IHI), 柳沢栄一 (三菱重工), 島貫広志 (新日鐵), 久保高宏 (川鉄), 石川信行 (NKK), 誉田登 (住金), 萩原直人 (東京ガス) (予定)

4. 研究問い合わせ先

565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1
大阪大学大学院工学研究科生産科学専攻

(1) 望月正人

TEL/FAX: 06-6879-7561,

E-mail: mmochi@mapse.eng.osaka-u.ac.jp

(2) 南二三吉

TEL/FAX: 06-6879-7547,

E-mail: minami@mapse.eng.osaka-u.ac.jp